参考資料

これからの北海道立近代美術館検討会議開催要領

（令和４年（2022 年）１月 12 日北海道教育委員会教育長決定）
（令和４年（2022 年）４月１日一部改正）
（令和５年（2023 年）４月３日一部改正）

１　目的

施設の老朽化が著しい北海道立近代美術館について、施設整備方針の検討が必要なことから、これまでの美術館活動を検証するとともに、今後、近代美術館に求められる役割や今後のあり方について有識者から意見を聴取するため、これからの北海道立近代美術館検討会議（以下「検討会議」という。）を開催する。

２　検討事項

(1) 近代美術館の活動の検証に関すること
(2) 近代美術館に求められる役割に関すること
(3) 近代美術館のコンセプトや必要な機能に関すること
(4) 近代美術館の整備の考え方、運営方法のあり方に関すること
(5) その他、近代美術館に関し必要な事項

３　構成

検討会議は、別表に掲げる者（以下「構成員」という。）をもって構成する。

４　運営

(1) 検討会議は、必要に応じて生涯学習推進局長が招集し、主催する。
(2) 検討会議に座長を置き、生涯学習推進局長がこれを行う。
(3) 座長は、不在の場合などの都度、これを代行する者を指名することができる。
(4) 座長が特に必要があると認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

５　その他

(1) 検討会議の事務は、生涯学習推進局文化財・博物館課において行う。
(2) この要領に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、北海道教育委員会教育長が定める。

別表

所　属　・　職		氏　　名
株式会社 haku	代表取締役	菊地　辰徳
北海道大学	名誉教授	北村　清彦
北海道教育大学釧路校	教授	佐々木　宰
北海道大学大学院	教授	佐々木　亨
前札幌芸術の森美術館	館長	佐藤　友哉

（敬称略、五十音順）

＜事務局＞

所　　属	職
教育庁	生涯学習推進局長
教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課	課長
	道立近代美術館担当課長
	課長補佐
	係長
	主任・主事
北海道立近代美術館	副館長
	学芸副館長
	総務企画部長
	学芸部長
	学芸統括官
	総務企画課長

検 討 経 過

時　　期	内　　容	備　考
令和４年（2022 年） ２月	○ 第１回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・開催要領　　・これまでの経過　　・道民アンケート ・今後の進め方　　※会議終了後、施設視察	2月1日（火）
３月	○ 第２回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・近代美術館の活動の検証	3月1日（火）
５月	○ 第３回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・開催要領の一部改正　・近代美術館の活動の検証 ・近代美術館のミッション	5月12日（木）
６月	○ 近代美術館・知事公館エリアの有効活用に係るサウンディング型市場調査実施要領の公表 ○ ステークホルダーからの意見聴取（ミッション）	
７月	○ 第４回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・近代美術館のミッション等に関する意見聴取の状況 ・今後の進め方	7月20日（水）
８月	○ 近代美術館・知事公館エリアの有効活用に係るサウンディング型市場調査	８月２日（火）～４日（木）、９日（火）
９月	○ 第５回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・近代美術館のミッション案等　　・施設設備の現状と課題 ○ 美術館利用者等からの意見聴取（オープンワークショップ）	9月7日（水） 9月23日（金） ～25日（日）
10月	○ 桑園地区連合町内会との意見交換	10月21日（金）
11月	○ 第６回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・ミッション、コンセプト案検討プロセス ・道民意見聴取の状況　　・運営方法のあり方 ○ 大通地区町内会連合会との意見交換	11月2日（水） 11月11日（金）
12月	○ 第７回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・目指す姿　　・施設整備方法	12月16日（金）
令和５年（2023 年） １月	○ 第８回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・これまでの検討内容	1月18日（水）
２月	○ 第９回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）素案 ○ 近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）素案公表	2月2日（木） 2月16日（木）
３月	○ パブリックコメント募集	3月9日(木)～4月8日(土)
５月	○ 第10回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）案	5月24日（水）

近代美術館の在り方検討に関する意見聴取の結果

1　聴取方法等

近代美術館がこれまで取り組んできた美術館活動に対する評価や、近代美術館が大切にすべきこと、期待する役割などについて、近代美術館利用者はもとより、近隣にお住まいの方や、近代美術館に関係する団体など、様々な方にお伺いし、多くの御意見をいただくことができました。御協力いただき、ありがとうございました。

対　象　者	実施方法	実施期間
近代美術館協議会委員（10 名）	文書照会	6/7～22
アートギャラリー北海道連携館（78 館）	文書照会	6/9～24
展覧会共催者（３社）	インタビュー、文書照会	6/24～7/1
高校生（北星学園女子中学高等学校、札幌龍谷学園高等学校）（17 名）	グループインタビュー	6/15～16
大学生（札幌大谷大学）（４名）	グループインタビュー	6/24
作品寄贈者、ギャラリー関係者、公募展関係者、文化団体関係者、作家（６名）	個人インタビュー	6/23～24、9/28、10/1、10/23
学校教育関係者、ボランティア、作家、作品寄贈者、美術記者（６名）	グループインタビュー	7/5
近代美術館利用者（721 名）	オープンワークショップ	9/23～25
その他一般の方（156 名）	ＷＥＢアンケート	9/23～10/22

2　意見聴取結果（近代美術館に期待すること）

美しさ　美術の文化をつなぐ　　地域や生活とつながる　**親しみ**

周辺街区を含む広域

近美・知事公館の街区

- **知事公館、三岸好太郎美術館との一体的に文化・芸術を発信するエリアになったらいいな！[17]**

近美の建物・緑地・取組み

- 芸術を通して人々が幸せを感じられるような、豊かな心が育つような場になってくれたらいいな！[9]
- **これからも北海道の美術館の中心的な存在として、地域を牽引していけるといいな！[14]**
- **世界にも誇れるような、観光資源にもなりうる美術館になってくれるといいな！[14]**
- **展示エリアや資料室がもっと広く充実するといいな！[21]**
- **今の近美の建物の良いところを残して、大事に使ってくれるといいな！[23]**
- 近美の場所はそのままに、施設が生まれ変わるといいな！[9]
- **近美の建物自体がアートとして魅力あるものになったらいいな！[12]**
- 落ち着いた雰囲気・環境のある美術館だといいな！[5]
- 「近代」にとらわれずに、「今」の日本や世界のアートを体感できるといいな！[4]
- 北海道ではなかなか見られないものや、全国・世界の作品が楽しめるといいな！[8]
- 国際的に有名な作品がみられるといいな！[5]
- **今まで以上にもっとたくさんの、様々なジャンルの展覧会が開催されるといいな！[13]**
- 国内や海外の美術館や博物館と連携した催しがあるといいな！[4]
- 近美コレクションを生かした自主企画、常設展が充実するといいな！[9]
- 作家・作品、展覧活動、研究に関するアーカイブを作れるといいな！[4]

- **もっと気軽に来れるように、駐車場が充実するといいな！[21]**
- **もっとオープンで気軽に入りやすくなる開放感があるといいな！[10]**
- 誰もが気軽に立ち寄れて、地域と共に成長していけるような場になるといいな！[7]
- いろんな人が美術に刺激を受け、次の興味につながる場になるといいな！[7]
- **市民にとっての親しみやすさ、わかりやすさを追求した美術館になるといいな！[11]**
- **展示を見学しないときも、散歩だったり、ゆっくり過ごしたり生活の一部として美術館に立ち寄れるといいな！[26]**
- **いろんな世代の方が楽しみ、出会えるような美術館になるといいな！[13]**
- 学校との連携やワークショップなど、小さい頃から親しみを持てる機会があるといいな！[9]
- **子どもが気軽にアートを楽しめる美術館になったらいいな！[16]**
- 子どもが休んだり遊べたりする空間があって、家族で楽しめる美術館になるといいな！[8]
- 遊べる場所や絵を描ける場所があるといいな！[3]
- **誰もが興味を持ちやすいイベントや企画、体験コーナーがあるといいな！[22]**
- 若者や学生がみんなで見学できる空間があるといいな！[3]
- **テラス席などのある、気軽に利用できるカフェがあるといいな！[13]**
- **食事ができるレストランがあるとゆっくり利用できていいな！[12]**
- 美術に関する書籍や読書スペースがあったり、図書館のように気軽に立ち寄れる場になったらいいな！[7]
- **夜間も開館していたり、夜間のイベントがあるともっと気軽に利用できていいな！[17]**
- 様々な表現方法での展示が楽しめるといいな！[9]
- **デジタル技術を活用して、美術作品がアーカイブやオンラインで見学できたり来館が難しい人も楽しめるようになるといいな！[11]**
- **誰もが使いやすいトイレやエレベータ、休憩できる椅子の充実などユニバーサルデザインで施設が生まれ変わるといいな！[26]**

- **子どもたちの好奇心を刺激し感性が育まれる展示や体験プログラムがあるといいな！[15]**
- **芸術教室など学びの機会や、道民の文化活動ができる場所や企画があるといいな！[13]**
- **地元作家の作品展示、活動支援によって地域との密着性が強まるといいな！[11]**
- 道民が利用できる市民ギャラリーや工房等、創作や発表の場があるといいな！[7]

- **屋外の自然と融合した作品展示やイベント開催があるといいな！[12]**
- 手入れがいきとどいた開放感のある庭になるといいな！[9]

- **建物と自然が一体的に、みどりに囲まれた美術館だといいな！[25]**
- 知事公館と一体的に、みどりを広く活用できるといいな！[8]

- **都心部の中の豊かな今ある自然を大切に、守り、残してくれるといいな！[24]**

育む　美術の文化をひろげる　　自然と共生する　**自然・環境**

※[ ]内は同様の意見の総数

近代美術館来館者アンケート結果①

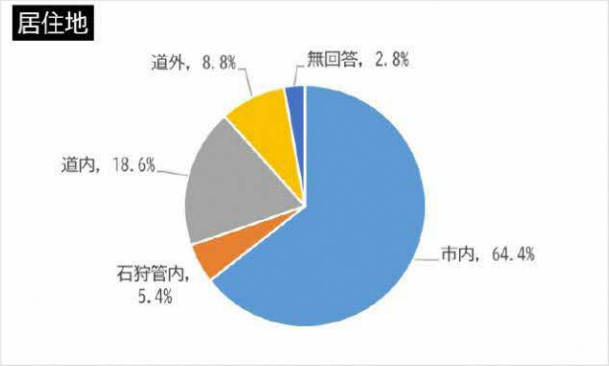
道教委

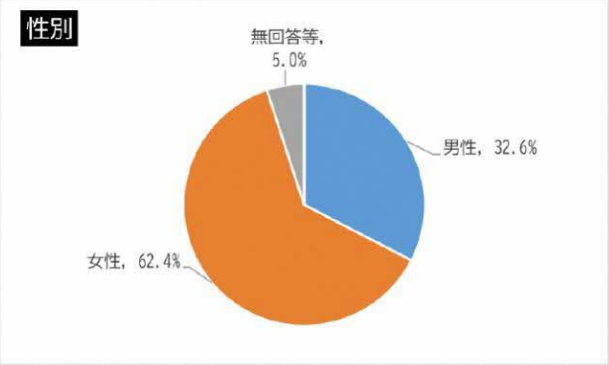
■ 調査方法

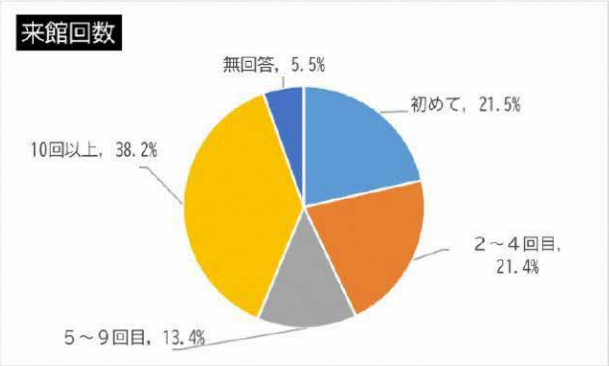
(1) 時期　平成30年(2018年)４月１日～令和３年(2021年)３月31日

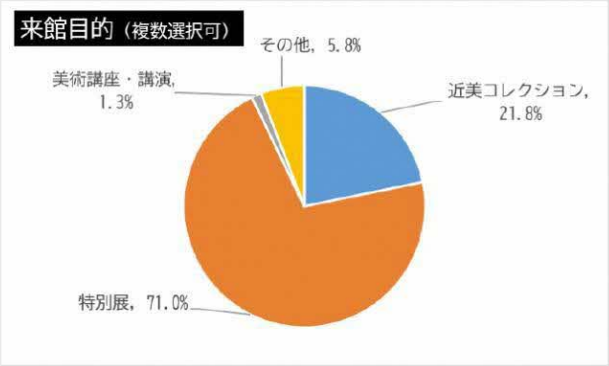
(2) 対象者　近代美術館利用者（館内各所にアンケート用紙設置）

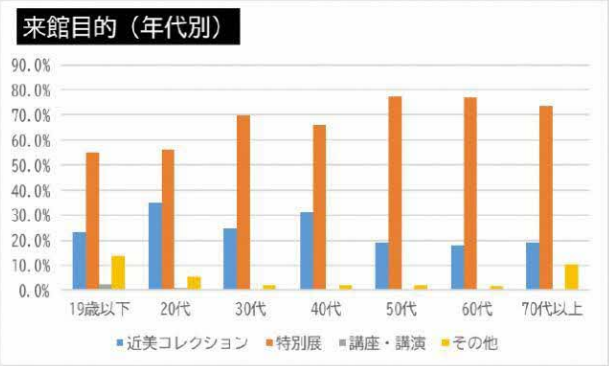
(3) サンプル数　3,269人





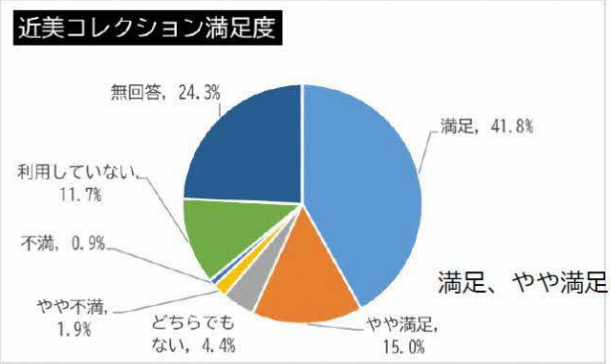


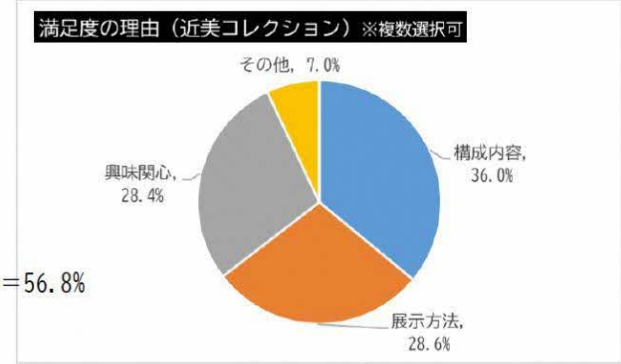


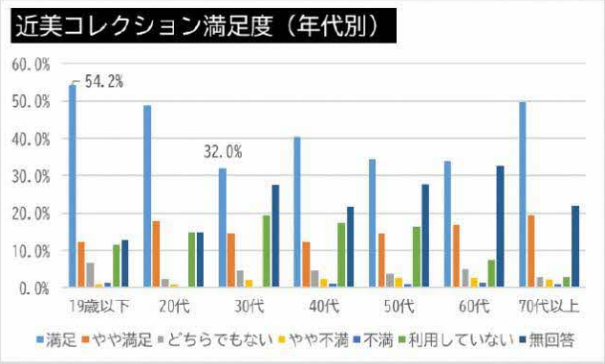


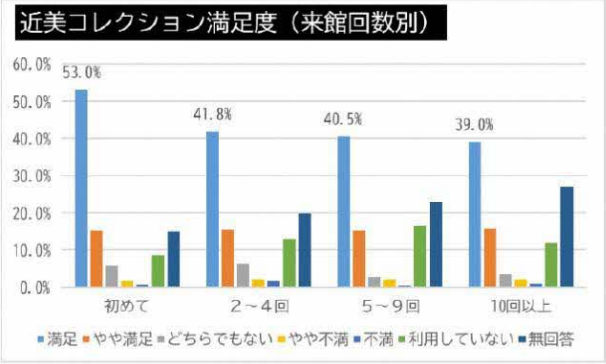
近代美術館来館者アンケート結果②

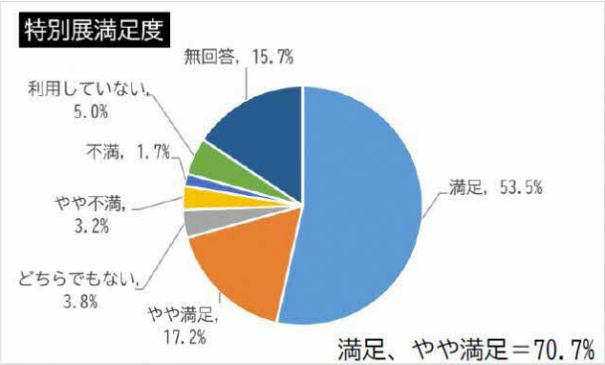
道教委

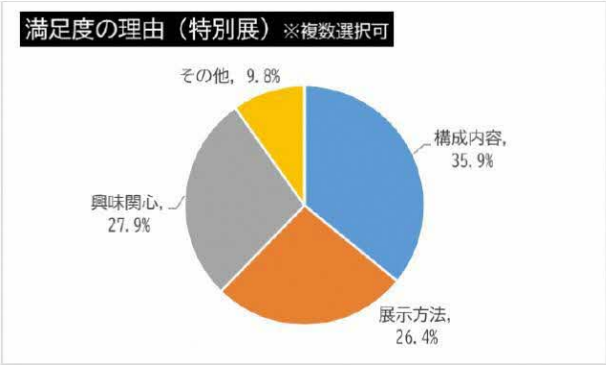


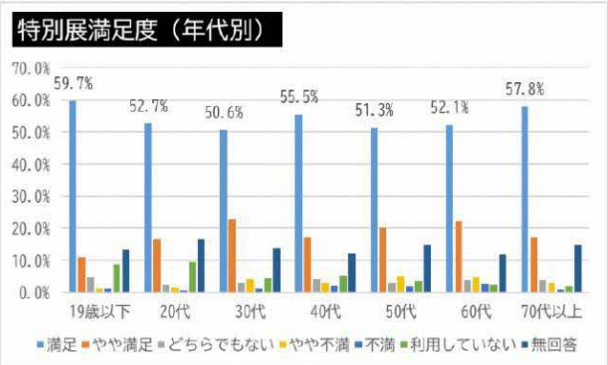


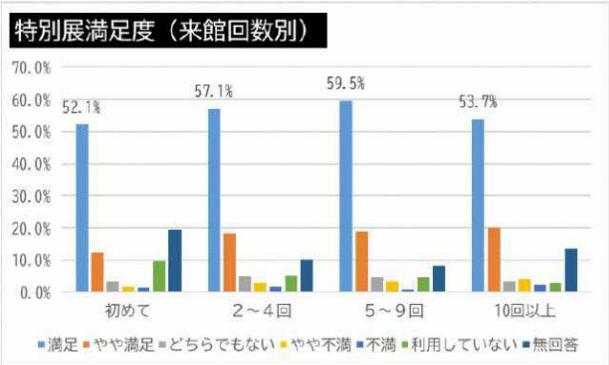








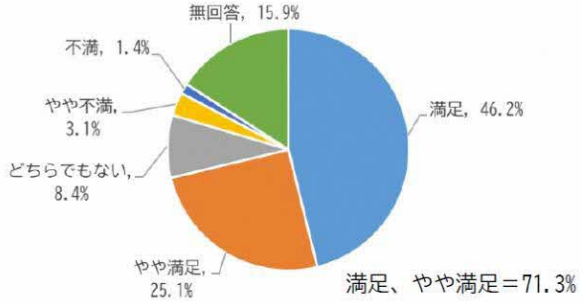




近代美術館来館者アンケート結果③

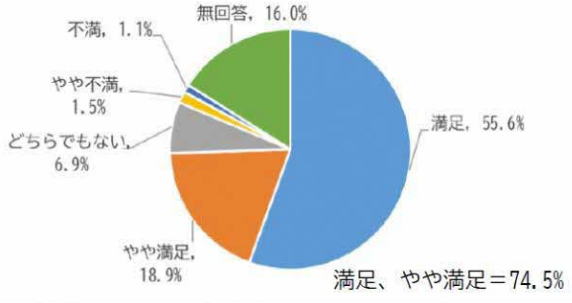
道教委

館内表示の満足度



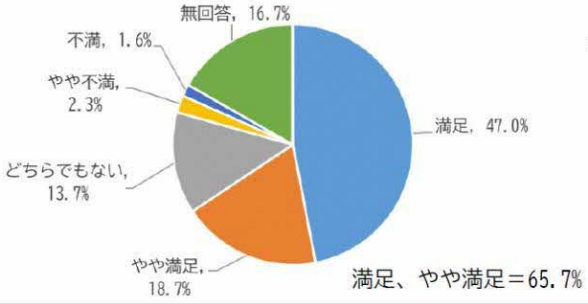
満足、やや満足＝71.3%

清潔さ、雰囲気



満足、やや満足＝74.5%

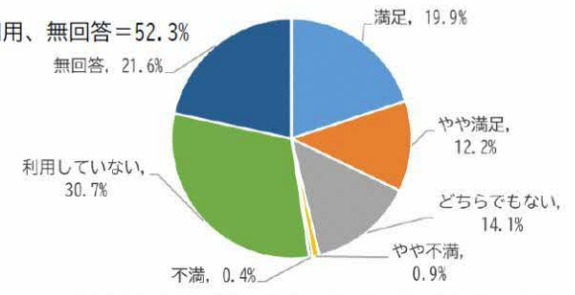
スタッフの対応



満足、やや満足＝65.7%

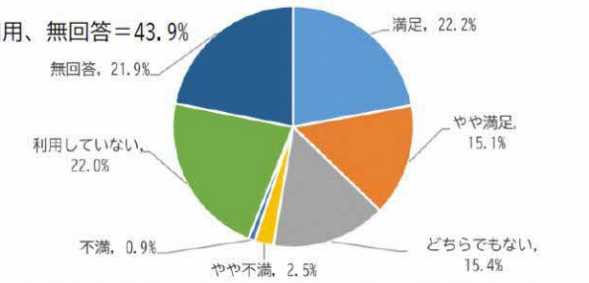
図書コーナー

未利用、無回答＝52.3%



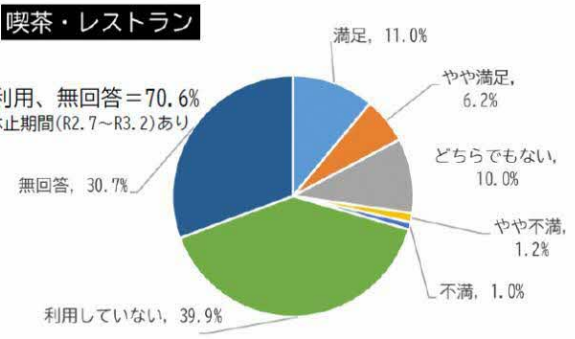
ミュージアム・ショップ

未利用、無回答＝43.9%

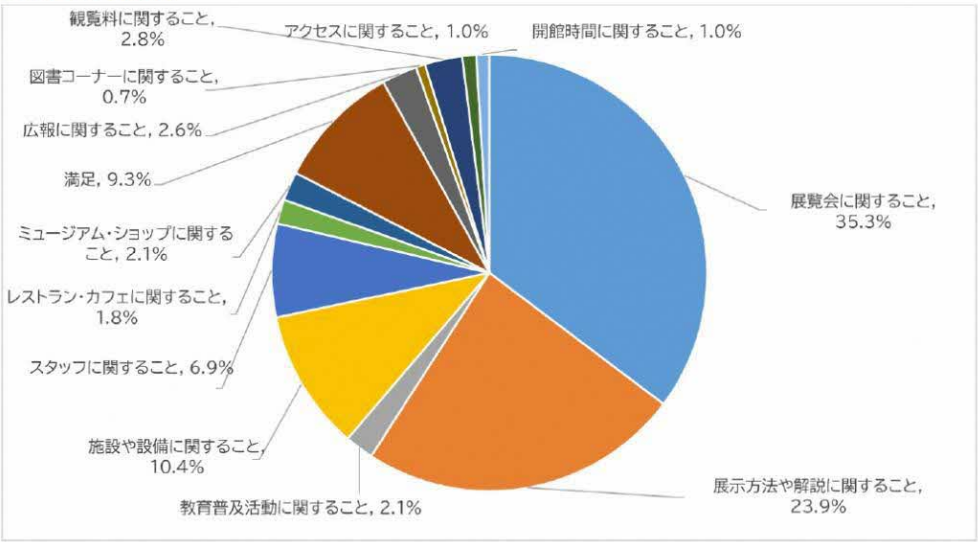


喫茶・レストラン

未利用、無回答＝70.6%
※休止期間(R2.7～R3.2)あり



■ 自由記述欄（1,446件）



■ 主な御意見

展覧会に関すること

・〇〇展が見たい。
※「北海道ゆかりの画家」、「近美の所蔵品をもっと」などの意見をはじめ、「北海道で見る機会のないもの」など様々な展覧会の希望がある。

・次の〇〇展を楽しみにしています。

・素晴らしい展覧会（企画）だった。

・北海道の風景画を常設展に加えてほしい。道内の画家を知りたい。

・近美の持っているコレクションをもっと見たい。展示物を増やしてほしい。

・近美の収蔵品が多いことを知らなかった。

・エコール・ド・パリの収蔵品を広く道民に知らせるべき。

展示方法や解説に関すること

・説明がわかりやすく勉強になり、美術に興味がわきました。

・見せ方に工夫が感じられた。展示構成がおもしろかった。

・「この１点を見て欲しい。」の企画がよい（おもしろい）。

・音声ガイドが良かった。

・解説の字が小さくて読みづらい。

・作品展示が高すぎて、車いすからは見えにくかった。

・英語の解説が足りない。

・照明がガラスに反射して見えにくい。

施設や設備に関すること

・トイレが狭い、少ない、古い。

・雰囲気、居心地がよい。

・暑い／寒い

・各室に休むための椅子があるとよい。座る場所が少ない。

・暗くて作品が見えにくい。

・２階につづく階段がよい。

・寂れた残念な感じがする。

・全体的に古いし狭い。

コンセプト実現のための手法や機能例

	ソフト Soft	ハード Hard					
		① 老朽化している施設・設備の更新	② 収蔵庫や什器、資料の保管場所など狭あい化の解消	③ 時代の進展にあわせたデジタル技術の活用	④ 誰もが気軽に利用でき、学ぶことができる開かれた場所	⑤ 多くの人が訪れる、居心地がよく、アクセスしやすい空間	⑥ 都心の貴重な緑を活かした環境整備
ハーモニー	● 魅力にあふれた多彩な展覧会の開催 ● 環境への影響を最大限配慮した活動	➢ 日常的な点検・確認、メンテナンス、更新が容易な施設設備 ➢ 適切な温湿度管理、災害対策が施された展示室		➢ デジタル技術を活用した鑑賞方法の基盤確立 ➢ 館内Wi-Fiを活用したイベントのライブ配信とアーカイブ化	➢ 施設設備のバリアフリー化 ➢ 表示等のユニバーサルデザイン化 ➢ 案内表示の多言語化	➢ くつろぎにあふれた魅力ある空間（カフェ、レストラン、ミュージアムショップ） ➢ 障がいのある方が自由に安心して利用できる駐車スペース	➢ 周辺の緑や環境と調和した持続可能性に配慮した施設・設備 ➢ 地域の自然との連続性を感じられるエントランスや内装
コレクション	● 社会の期待や美術界の動向を考慮した収集方針の検討 ● コレクションの意義も含めた情報発信 ● 系統的な収集と適切な保存 ● インターネット、出版等による発信力の強化 ● 計画的な作品の修復	➢ 適切な温湿度管理、災害対策が施された保存環境 ➢ 作品の状態を確認しやすい保管庫	➢ 将来の収蔵数を見込んだ作品保管スペース ➢ 梱包箱の一時保管場所、什器類の保管場所 ➢ 安全に作品の搬出入を行える荷解室	➢ コレクションデータベースの充実	➢ 展示替休館中でも鑑賞可能なコレクションの常設展示スペース		

	ソフト Soft	ハード　Hard					
		① 老朽化している施設・設備の更新	② 収蔵庫や什器、資料の保管場所など狭あい化の解消	③ 時代の進展にあわせたデジタル技術の活用	④ 誰もが気軽に利用でき、学ぶことができる開かれた場所	⑤ 多くの方が訪れる、居心地がよく、アクセスしやすい空間	⑥ 都心の貴重な緑を活かした環境整備
リサーチ	● 展示、コレクション活用に連動した調査研究の充実 ● インターネット、出版等による調査研究成果の社会還元を強化・充実 ● 学芸員の調査研究活動充実に向けた環境の整備・充実 ● 外部研究者との連携強化 ● 利用者に対するレファレンス機能の充実	➢ 学芸員の調査研究活動充実に向けた環境【再掲】	➢ 学芸員の調査研究や作品・展覧会等に関する資料の保管場所	➢ 道内の美術館やギャラリーの最新情報にアクセスできる特設ページ	➢ 美術図書室と情報コーナーの充実 ➢ 北海道美術史に関わる基礎資料を利用できるアーカイブ構築		
コラボレーション	● 地域の作家と共に、北海道の美術の現況を紹介する展示を企画、実施 ● 障がいのある方の鑑賞機会充実に向けた団体等との連携強化 ● 音楽、舞踊、スイーツ、医療その他多様なジャンルとの協働活動 ● 企業・団体との新しい協働方式による展覧会の開催 ● 他館と連携したアートシーンの活性化	➢ 多様なジャンルの活動や発表に対応できる多機能なホール		➢ 誰もが鑑賞を楽しめるデジタル技術	➢ 幅広い使用に開かれた多機能ルーム ➢ 美術館に常時関わる道民のための活動スペース		
ウィズ・キッズ	● 学校教育との連携等による発達段階に応じたラーニング・プログラムの開発 ● 子どもと大人が一緒に楽しめるワークショップの実施 ● 子どもの視点に立った展示の工夫	➢ 様々なラーニング・プログラムに対応した施設設備		➢ オンラインによる美術学習を可能とするデジタル基盤	➢ 子ども向け展示スペース	➢ 学校等の団体にも対応可能な駐車スペース	➢ 屋外彫刻等を活用した親子で楽しめるスペース ➢ 緑を活かした環境学習スペース